

石元 泰博 (1921 - 2012)

Yasuhiro Ishimoto

- 1921年 サンフランシスコに生まれる
- 1924年 両親とともに高知県に戻る
- 1939年 高知県立高知農業高等学校卒業、単身渡米
- 1948年 シカゴ・インスティテュート・オブ・デザイン（通称ニュー・パウハウス、後のイリノイ工科大学）写真科に入学
- 1952年 イリノイ工科大学卒業
- 1953年 日本に戻り桂離宮の撮影を開始
- 1958年 シカゴに滞在
- 1961年 日本に帰国
- 1969年 日本国籍取得
- 2004年 1万点を超える全作品を高知県立美術館に寄贈
- 2012年 逝去

2014年 10月 12日高知県立美術館石元泰博フォトセンターオープン

<http://iypc.moak.jp>

受賞および受章

- 2012年 正四位、旭日重光章追贈
- 2005年 紺綬褒章
高知県文化賞
- 1996年 平成八年度文化功労者
桑沢特別賞
- 1994年 アルル名誉市民賞
- 1993年 勲四等旭日小綬章
- 1992年 日本写真協会賞功労賞
- 1990年 日本写真協会賞年度賞
- 1983年 紫綬褒章
- 1978年 日本写真協会賞年度賞
芸術選奨文部大臣賞
- 1970年 毎日芸術賞
- 1962年 カメラ芸術賞
- 1957年 日本写真批評家協会作家賞
- 1951年 モホリ＝ナギ賞（52年も受賞）
- 1950年 ヤング・フォトグラファーズ・コンテスト、ライフ誌

主な個展

- 2023年 「コレクション展 HANA / 牧野富太郎記念館の建築」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 日本の近代建築」 高知県立美術館（高知）
- 2022年 「コレクション展 水と人のながれ」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 街」 高知県立美術館（高知）
- 2021年 「コレクション展 雲、紙、雪のあしあと」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 ハロウィン」 高知県立美術館（高知）
「キャノンフォトコレクション石元泰博写真展「色とかたち」キャノンオープンギャラリー キヤノン S タワー」
「石元泰博生誕 100 年記念作品展 Yasuhiro Ishimoto」 PGI（東京）
「コレクション展 桂離宮 1981-82」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 ヌード」 高知県立美術館（高知）
「生誕 100 年 石元泰博写真展」 高知県立美術館（高知）
- 2020年 「コレクション展 湖国の十一面観音」 高知県立美術館（高知）
「生誕 100 年 石元泰博写真展 伝統と近代」 東京オペラシティ アートギャラリー（東京）
「生誕 100 年 石元泰博写真展 生命体としての都市」 東京都写真美術館（東京）
「コレクション展 選挙」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 都市—〈映像の現代〉シリーズより」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 両界曼荼羅」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 包まれた食物」 高知県立美術館（高知）
- 2018年 「建築家・磯崎新、内藤廣の仕事」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 シカゴ建築」 高知県立美術館（高知）
「Yasuhiro Ishimoto: Someday, Chicago」 デポール美術館（シカゴ、アメリカ）
「コレクション展 HANA」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 国東紀行」 高知県立美術館（高知）
「モダニストの日本美—石元泰博『桂』の系譜」 三重県立美術館（三重）
- 2017年 「コレクション展 色とことば」 高知県立美術館（高知）
「シカゴ、シカゴ」 二大コレクション展 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 東京—山手線界限」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 カリフォルニアの住宅 グリーン・アンド・グリーン」 高知県立美術館（高知）
- 2016年 「コレクション展 かたち」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 なかま」 高知県立美術館（高知）
「Yasuhiro Ishimoto : Bilingual Photography and the Architecture of Greene & Greene」 ハンティントン・ライブラリー（サン・マリノ、アメリカ）
「コレクション展 再現：ディオゲネス・ウィズ・ア・カメラ」 高知県立美術館（高知）
「シカゴ／東京／桂」 写大ギャラリー（東京）
- 2015年 「コレクション展 ポートレート」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 ビーチ」 高知県立美術館（高知）
「コレクション展 こども」 高知県立美術館（高知）
- 2014年 「この素晴らしき世界」 石元泰博フォトセンターオープン記念 高知県立美術館（高知）
「石元泰博・フォトギャラリー 刻 —moment—」 高知県立美術館（高知）

- 2013年 「追悼展 写真家・石元泰博の軌跡」 高知県立美術館（高知）
- 2012年 「写真家石元泰博 -時代を超える静かなまなざし-」 今治市河野美術館（愛媛）、
文化フォーラム春日井・ギャラリー（愛知）、佐世保市博物館島瀬美術センター（長崎）
「シカゴ、シカゴ」石元泰博追悼展 フォト・ギャラリー・インターナショナル(P.G.I.)(東京)
「石元泰博写真展 -桂離宮 1953, 1954-」 神奈川県立近代美術館 鎌倉（神奈川）
「桂離宮」パウハウス資料館 / 造形美術館（ベルリン、ドイツ）
- 2011年 「両界曼荼羅」 P.G.I.（東京）
「写真家・石元泰博の眼 —桂、伊勢」 高知県立美術館（高知）
- 2010年 「石元泰博写真展」水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城）
「KATSURA: Picturing Modernism in Japanese Architecture , Photographs by Ishimoto Yasuhiro」
ヒューストン美術館（テキサス、アメリカ）
「新収蔵品+石元泰博フォトギャラリー」 高知県立美術館（高知）
「KATSURA: The Photographs of Ishimoto Yasuhiro」カリフォルニア大学ロサンゼルス校バーロフ・ホ
ール（ロサンゼルス、アメリカ）
「石元泰博 桂離宮」松屋銀座・デザインギャラリー1953（東京）
「石元泰博フォトギャラリー ある日ある所」高知県立美術館（高知）
- 2009年 「色とかたち」 P.G.I.（東京）
「Ways on Seeing: The Photography of Ishimoto Yasuhiro」ヒューストン美術館（テキサス、アメリカ）
「石元泰博 [多重露光]」武蔵野美術大学美術資料図書館（東京）
「石元泰博フォトギャラリー 東京、山手線」高知県立美術館（高知）
「シカゴ、シカゴ」土門拳記念館（山形）
- 2008年 「東京」 P.G.I.（東京）
「石元泰博フォトギャラリー シブヤ、シブヤ」高知県立美術館（高知）
- 2007年 「シブヤ、シブヤ」 P.G.I.（東京）
- 2006年 「Yasuhiro Ishimoto」ギャラリー・カメラ・オブスキュラ（パリ）
「On The Beach」 P.G.I.（東京）
「石元泰博フォトギャラリー 冬のシカゴ」高知県立美術館（高知）
- 2005年 「石元泰博作品展 都市への視線」ギャラリー エークウッド、竹中工務店（東京）
「シカゴ 1966」 P.G.I.（東京）
「シカゴ、シカゴ」ぎやらりー807（北海道）
「フォトグラファー石元泰博の世界」高知県立美術館（高知）
- 2004年 「石元泰博 写真展 街かど -シカゴ、渋谷 -」キヤノンサロン S（東京）
- 2003年 「石元泰博 桂離宮 1981-1982」、「街かど 2002-03」 P.G.I.（東京）
「Yasuhiro Ishimoto: Katsura Villa」ローレンス・ミラー・ギャラリー（ニューヨーク）
「Yasuhiro Ishimoto」ギャルリ・ドゥ・テアトル（ギャップ、フランス）
- 2002年 「Yasuhiro Ishimoto: Selected Works」ステファン・デイター・ギャラリー（シカゴ、アメリカ）
- 2001年 「写真再発見 2」にて個展「シカゴ」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
「顔」 P.G.I.（東京）
「石元泰博写真展 1946-2001」高知県立美術館（高知）
- 2000年 「Yasuhiro Ishimoto Photographs: Traces of Memory」クリーブランド美術館（クリーブランド、アメリカ）
「Yasuhiro Ishimoto: Photographs 1950-1995」イマジェリ（ラニヨン、フランス）

- 1999年 「石元泰博写真展 伝真言院曼荼羅」 国立国際美術館（吹田、大阪）
「Yasuhiro Ishimoto: A Tale of Two Cities」 シカゴ美術館（シカゴ、アメリカ）
「Yasuhiro Ishimoto」 ヘルテン国際写真フェスティバル '99（ヘルテン、ドイツ）
- 1998年 「Yasuhiro Ishimoto」 ギャラリー・カメラ・オブスキュラ（パリ）
「Ise by Yasuhiro Ishimoto」 シカゴ美術館（シカゴ）
「KATSURA」 P.G.I.芝浦（東京）
「水と人のながれ」 P.G.I.（東京）
「石元泰博展—シカゴ、東京」 東京都写真美術館（東京）
- 1997年 「Chicago Years シカゴ時代」 P.G.I.（東京）
「Yasuhiro Ishimoto: The Chicago Years」 ローレンス・ミラー・ギャラリー（ニューヨーク）
「石元泰博作品展—桂離宮」 キヤノン・ワンダー・ミュージアム（千葉）
「石元泰博写真展：モネ・睡蓮」 ミツムラ・アート・プラザ（東京）
- 1996年 「石元泰博 山の手線 29」 ギャラリー・アート・グラフ（東京）
「石元泰博展—現在の記憶」 東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
「色と遊ぶ」 P.G.I.芝浦（東京）、
- 1995年 「雲、紙、雪のあしあと」、「伊勢神宮」 P.G.I.（東京）
- 1994年 「石元泰博：桂と近作」 アルル国際写真フェスティバル（アルル、フランス）
- 1992年 「落ち葉とあき缶」 P.G.I.（東京）
- 1989年 「KATSURA」 P.G.I.（東京）
「石元泰博写真展 その感性と視覚 1948—1989」 西武百貨店大津店・西武ホール（滋賀）
（翌年、有楽町アート・フォーラム 東京）
- 1988年 「HANA」 P.G.I.（東京）
- 1986年 「街 人かたち」 P.G.I.（東京）
「シカゴ、シカゴ 1942—1982」 近鉄百貨店（大阪）
- 1985年 「とんできた色がみ II」 フォトギャラリー・ワイド（東京）
- 1983年 「桂離宮 — 空間と形」 西武百貨店大津店・西武ホール（滋賀）、船橋西武美術館（千葉）
「みほとけたちの世界：曼荼羅の美」 弘前市立博物館（青森）
「シカゴ、シカゴ II」、「山の手線・29」 P.G.I.（東京）
- 1982年 「シカゴ、シカゴ」、「ある日ある所」 P.G.I.（東京）
「とんできた色がみ」 フォトギャラリー・ワイド（東京）
- 1981年 「湖国の十一面観音」 西武百貨店大津店・西武ホール（滋賀）、船橋西武美術館（千葉）
- 1980年 「Yasuhiro Ishimoto: CHICAGO CHICAGO」 ギルバート・ギャラリー（シカゴ、アメリカ）
- 1979年 「ある日ある所」 ギャラリー・アイハート（東京）
- 1977年 「石元泰博写真 曼荼羅展」 西武美術館（東京）
- 1966年 「第24回デザインギャラリー展 桂」 松屋銀座・デザインギャラリー1953（東京）
- 1962年 「シカゴ、シカゴ」 日本橋・白木屋（東京）
- 1960年 「Photographs by Yasuhiro Ishimoto」 シカゴ美術館（シカゴ、アメリカ）
- 1954年 「石元泰博 写真展」 タケミヤ画廊（東京）

主なグループ展

- 2014年 「スピリチュアル・ワールド」 東京都写真美術館（東京）
- 2013年 「キヤノン フォトコレクション特別展」 キヤノンギャラリー S（東京）
- 2011年 「メタボリズムの未来都市展」 森美術館（東京）
- 2009年 「日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964」 世田谷美術館（東京）
- 2008年 「建築の記憶」 東京都庭園美術館（東京）
- 2007年 「The Other Side of Light: Shadows from the Photography Collection」 シカゴ美術館（シカゴ）
「Water」 21_21 Design Sight（東京）
「When Color Was New」 シカゴ美術館（シカゴ）
「Joy of Color」 ローレンス・ミラー・ギャラリー（ニューヨーク）
- 2006年 「光と影 Light and Shadow」 東京都写真美術館（東京）
- 2005年 「庭園植物記」 東京都庭園美術館（東京）
- 2003年 「日本写真史展」 ヒューストン美術館（テキサス、アメリカ）
- 2002年 「Taken by Design: Photographs from the Institute of Design, 1937-1971」 シカゴ美術館（シカゴ）
「未完の世紀—20世紀美術がのこすもの」 東京国立近代美術館（東京） 1/16-3/10
「プラチナプリントの輝き展」 P.G.I.（東京）
- 2000年 「P.G.I.ギャラリー・アーティスト展」 P.G.I.（東京）
- 1999年 「The World and the Ephemeral」 アルル国際写真フェスティバル（アルル、フランス）
- 1998年 「Waterproof」 エキスポ '98（リスボン）
「日本の美を撮る 渡辺義雄 土門拳 石元泰博」 トーランス・アート・センター（カリフォルニア）
「Car Culture - 20世紀写真に見る車社会」 清里フォトアートミュージアム（山梨）
- 1997年 「都市のイメージ：東京国立近代美術館の写真コレクションより」 東京国立近代美術館（東京）
「現代の写真 失われた風景—幻想と現実の世界」 横浜美術館（横浜）
- 1996年 「日本の写真—内なるかたち・外なるかたち」 東京都写真美術館（東京）
「When Harry Met Aaron: Chicago Photography 1946-1971」 コロンビア・カレッジ・シカゴ現代写真美術館（シカゴ、アメリカ）
「Together Again」 ギャラリー312（シカゴ）
「Chicago Photography 1935-1965」 ジェームズ・ダンジガー・ギャラリー（ニューヨーク）
「1953年 ライトアップ：新しい戦後美術像が見えてきた」 目黒区美術館（東京）
- 1995年 「東京国立近代美術館と写真 1953-1995」 東京国立近代美術館（東京）
- 1991年 「SITE WORK: Architecture in Photography since Early Modernism」
フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン）
「写真の1955-65 自立した映像群」 山口県立美術館（山口）
「日本写真の転換 1960年代の表現」 東京都写真美術館（東京）
「写真家はなにを見たか 1945-1960」 コニカプラザ（東京）
- 1990年 「東京 都市の視線」 東京都写真美術館（東京）
- 1989年 「10周年記念展 Vol.1 国内作家展」 P.G.I.（東京）
- 1988年 「日本の写真家8人展」 P.G.I.（東京）
- 1986年 「スーパー・イメージの世界」 有楽町・アートフォーラム（東京）
- 1985年 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館 '85（茨城）
「石元泰博 HARRY CALLAHAN オリジナル・プリント展」 日本大学芸術学部図書館ギャラリー（東京）

- 1984年 「芸術としての写真・その誕生から今日までーシカゴ美術館のコレクションから」 国立国際美術館（大阪）
- 1980年 「The New Vision: Forty Years of Photography at the Institute of Design」 シカゴ公共図書館文化センター（アメリカ）
「Photographers at the Institute of Design」 ギルバート・ギャラリー（シカゴ、アメリカ）
- 1979年 「新収蔵作品展」 国立国際美術館（大阪）
「Japanese Photography Today and Its Origin」 ボローニャ近代美術館（イタリア）
- 1977年 「The Photographer and the City」 コンテンポラリー・ミュージアム・シカゴ（シカゴ）
- 1975年 「日本現代写真史展 終戦から昭和45年まで」 西武美術館（東京）
- 1974年 「New Japanese Photography」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- 1971年 「NIPPON THEMES 12"x10"」 プラハ・インターカメラ'71（チェコスロバキア）
- 1967年 「Photography in the 20th Century」 カナダ国立美術館（オタワ）
「ちいさなちいさな展覧会」 松屋銀座（東京）
- 1964年 「日本の産業」 ニューヨーク万国博覧会日本館（ニューヨーク）
- 1963年 「現代写真展 1961-62年」 東京国立近代美術館（東京）
- 1962年 「NON」 松屋銀座（東京）
- 1961年 「現代写真展 1960年」 国立近代美術館（東京）
「Diogenes with a Camera V」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- 1960年 「現代写真展 1959年」 国立近代美術館（東京）
「Recent Acquisitions」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- 1959年 「第3回 10人の眼」 小西六フォトギャラリー（東京）
- 1958年 「第1回写真批評家協会賞写真展」 富士フォトサロン（東京）
「Photographs from the Museum Collection」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
- 1957年 「第1回 10人の眼」 小西六フォトギャラリー（東京）
- 1956年 「今日の写真 日本とフランス」 国立近代美術館（東京）
「第1回 国際主観主義写真展」 日本橋高島屋（東京）
「第3回 グラフィック集団展」 松屋銀座（東京）
- 1955年 「The Family of Man」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
「第2回 グラフィック集団展」 松屋銀座（東京）
- 1954年 「Subjektive fotografie 2」 ザールブリュッケン国立美術工芸学校（ドイツ）
「現代の眼：日本美術史から」 国立近代美術館（東京）
- 1953年 「現代写真展 日本とアメリカ」 国立近代美術館（東京）
「Always the Young Strangers」 ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク）
「The Architecture of Japan」 ウィリアムズ大学（ウィアムズタウン、アメリカ）アメリカ国内巡回

出版物

- 「石元泰博 生誕100年」 平凡社（2020年）
- 「内藤廣+石元泰博 空間との対話」 Art Design Publishing（2013年）
- 「両界曼荼羅」 平凡社（2011年）
- 「石元泰博 - 写真という思考」 森山明子著 武蔵野美術大学出版局（2010年）
- 「桂離宮」 六耀社（2010年）
- 「多重露光」 武蔵野美術大学美術資料図書館（2009年）

- 「めぐりあう色とかたち」平凡社（2008年）
「シブヤ、シブヤ」平凡社（2007年）
「刻 Moment」平凡社（2004年）
「色とかたち」平凡社（2003年）
「石元泰博写真展 1946-2001」高知県立美術館（2001年）
「YASUHIRO ISHIMOTO」シカゴ美術館（1999年）
「石元泰博展—シカゴ、東京」東京都写真美術館（1998年）
「石元泰博」＜日本の写真家 26＞岩波書店（1997年）
「石元泰博写真展—現在の記憶」東京国立近代美術館フィルムセンター（1996年）
「伊勢神宮」岩波書店（1995年）
「石元泰博写真展」西武美術館（1989年）
「HANA」求龍堂（1988年）
「シカゴ、シカゴ II」リプロ（1983年）
「桂離宮 空間と形」岩波書店（1983年）
「佐藤忠良の世界」現代彫刻センター（1982年）
「湖国の十一面観音」岩波書店（1982年）
「伝真言院両界曼荼羅」平凡社（1977年）
「都市 映像の現代 8」中央公論社（1971年）
「シカゴ、シカゴ」美術出版社（1969年）
「桂—日本建築における伝統と創造」丹下健三 ウォルター・グロピウス共著、
造形社（1960年）、イエール大学＜英語版＞（1960年）
「ある日ある所」芸美出版社（1958年）

パブリックコレクション

- 東京国立近代美術館（東京）
国立国際美術館（吹田）
東京都写真美術館（東京）
高知県立美術館（高知）
日本大学（東京）
東京工芸大学（東京）
ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、アメリカ）
シカゴ美術館（シカゴ、アメリカ）
ヒューストン美術館（ヒューストン、アメリカ）